



## 2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社バリューソフトホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 455A URL https://www.valuesofthd.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒井 雅美  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 CFO (氏名)小澤 修 (TEL)03-6453-0303  
 定時株主総会開催予定日 2026年3月31日 配当支払開始予定日 -  
 発行者情報提出予定日 2026年3月31日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期の連結業績(2025年1月1日~2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	1,454	4.8	65	38.5	79	23.1	58	24.7
2024年12月期	1,387	5.8	47	-	64	410.9	46	-

(注) 包括利益 2025年12月期 58百万円(24.7%) 2024年12月期 46百万円(-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	580.63	-	24.8	14.9	4.5
2024年12月期	465.79	-	25.6	13.2	3.4

(注) 1. 当社は、2025年9月2日付けで普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	567	263	46.4	2,632.76
2024年12月期	500	205	41.0	2,052.12

(注) 当社は、2025年9月2日付けで普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

(参考) 自己資本 2025年12月期 263百万円 2024年12月期 205百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	76	△1	△19	374
2024年12月期	62	△6	△24	319

## 2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2025年12月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2026年12月期(予想)	0.00	17.09	17.09	-	3.00	-

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,582	8.8	76	15.6	86	9.0	56	△1.9	569.61

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期	100,000株	2024年12月期	100,000株
-----------	----------	-----------	----------

② 期末自己株式数

2025年12月期	一株	2024年12月期	一株
-----------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数

2025年12月期	100,000株	2024年12月期	100,000株
-----------	----------	-----------	----------

(注) 当社は、2025年9月2日付けで普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

2025年度におけるシステム開発業界は、生成AI・クラウドネイティブ化・セキュリティ高度化など急速な技術革新が進む一方、IT人材不足の長期化や多様な働き方への対応、開発プロセスの高度化要求など、企業を取り巻く環境は一層複雑さを増しております。こうした変化の激しい市場環境の中にあつて、バリューソフトホールディングスグループは、お客様企業の業務変革・デジタル化需要に的確に応えるべく、開発体制の強化と技術領域の拡張を進めるとともに、生成AIをはじめとした先端技術の利活用を積極的に推進してまいりました。また、品質・生産性向上に向けた標準化の深化、人材育成と獲得施策の強化、グループシナジー創出に向けた組織連携の最適化を進め、持続的成長の基盤整備に注力いたしました。今後も、社会やお客様のニーズの変化を的確に捉え、付加価値の高いサービス提供と技術力・組織力の強化を継続することで、企業価値の一層の向上を図ってまいります。

当社グループはこれまで、当社サービスの活用によって顧客企業の成長を強力に支援するとともに、働き方改革に伴う生産性の向上や業務の効率化を目指し、更なる採算性の重視、品質の向上に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は1,454,304千円（前期比4.8%増加）、営業利益は65,865千円（同38.5%増加）、経常利益は79,364千円（同23.1%増加）、親会社に帰属する当期純利益は58,063千円（同24.7%増加）となっております。

なお、当社グループは、システム開発事業を主体とするソリューション開発事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は524,313千円で、前連結会計年度末に比べ67,474千円増加しております。主な要因は現金及び預金の増加54,917千円、売掛金の増加11,873千円等であります。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は42,709千円で、前連結会計年度末に比べ1,059千円減少しております。主な要因は工具、器具及び備品の増加809千円、建物及び構築物の減少451千円、差入保証金の減少759千円及びソフトウェアの減少1,242千円等であります。

#### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は263,723千円で、前連結会計年度末に比べ28,344千円増加しております。主な要因は買掛金の増加16,383千円、未払費用の増加3,122千円、未払法人税等の増加4,089千円等であります。

#### (固定負債)

当連結会計期間年度における固定負債の残高は40,024千円で、前連結会計年度末に比べ19,992千円減少しております。長期借入金の減少19,992千円が変動要因であります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は263,275千円で、前連結会計年度末に比べ58,063千円増加しております。増加要因は親会社株主に帰属する当期純利益58,063千円の計上による利益剰余金の増加であります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ54,917千円増加し、374,329千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は76,220千円（前期比22.8%増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益79,364千円、仕入債務の増加16,383千円及び、売上債権の増加11,873千円等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,311千円（同79.8%減少）となりました。有形固定資産の取得による支出1,311千円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は19,992千円（同19.0%減少）となりました。長期借入金の返済による支出19,992千円によるものであります。

### (4) 今後の見通し

経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況に上述した通り、今年度においても生成AI・セキュリティ高度化など急速な技術革新の進展に伴うDX（デジタルトランスフォーメーション）の拡大が加速し、さらに人手不足の深刻化や業務のデジタル化への対応のためのソフトウェアの導入・更新等、企業のIT投資は堅調に推移していくものと見込まれます。更には、今後の弊社を取り巻く経済環境には幾つかの重要な要素が今後の業績に影響を及ぼすと考えています。

#### ①人材市場・労務費の上昇

IT業界ではエンジニア需要が引き続き高く、採用市場の活発化により人材の獲得・育成コストが上昇し、売上原価や利益率にも影響が及んでおります。従業員の働きやすさや成長機会の拡充に取り組むことで、人材基盤の強化とともに長期的な競争力確保を図る必要があります。

#### ②インフレへの影響

物価上昇は人件費や外注費に加え、システム開発に係る調達費用など幅広いコスト項目に影響を及ぼしております。企業調査においてもインフレは主要な懸念材料とされており、引き続き注意を要する状況が続いております。

#### ③資本市場環境

2025年11月のTOKYO PRO Market上場により、資金調達・知名度向上とともにガバナンス強化が一層求められる資本市場の経営環境の一部となりました。

#### ④コーポレートガバナンスに対する要求水準の向上

経営の透明性向上や統治機能の強化を重視する方向で進展しており、より高度な統治体制の構築が求められております。

このような状況のもと、当社グループでは全社員に対し原価意識の更なる醸成を図るとともに、コスト構造と収益性を一体的に捉えた経営手法の徹底に従来から取り組んでおります。これにより、業務効率の向上と利益体質の強化を推進し、持続的な収益拡大を目指してまいります。

2026年12月期の連結業績予想につきましては、売上高は1,582,729千円（前期比8.8%増加）、売上原価・売上総利益 売上原価は、過去の実績値及び売上高の変動要因等を考慮するとともに、人財の拡充等による労務費への影響や物価高による諸要因の影響を加味し、売上原価は1,245,240千円（同8.0%増加）、売上総利益は337,477千円（同12.0%増加）を見込んでおります。販売費及び一般管理費、営業利益につきましては、過去の実績値をベースとして、ガバナンス関連費用、人材採用費等の発生を考慮し販売費及び一般管理費は261,342千円（同11.0%増加）、営業利益

は76,135千円（同15.6%増加）を予測しております。営業外損益、経常利益 営業外損益につきましては、過去の実績値をベースに算出しております。これらの結果、経常利益86,474千円（同9.0%増加）と予測しております。親会社株主に帰属する当期純利益は法人税等を考慮して、56,961千円（同1.9%減少）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	319,412	374,329
売掛金	130,826	142,699
仕掛品	606	669
その他	5,993	6,614
流動資産合計	456,838	524,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,037	3,586
工具、器具及び備品（純額）	436	1,245
有形固定資産合計	4,474	4,832
無形固定資産		
ソフトウェア	1,242	—
その他	193	193
無形固定資産合計	1,436	193
投資その他の資産		
投資有価証券	10,250	10,250
差入保証金	22,232	21,473
繰延税金資産	5,375	5,959
投資その他の資産合計	37,858	37,683
固定資産合計	43,768	42,709
資産合計	500,607	567,022

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,202	75,586
1年内返済予定の長期借入金	19,992	19,992
未払費用	80,719	83,841
未払法人税等	11,402	15,491
未払消費税等	29,171	28,808
預り金	18,896	20,487
賞与引当金	10,661	11,271
その他	5,334	8,245
流動負債合計	235,378	263,723
固定負債		
長期借入金	60,016	40,024
固定負債合計	60,016	40,024
負債合計	295,394	303,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	105,212	163,275
株主資本合計	205,212	263,275
純資産合計	205,212	263,275
負債純資産合計	500,607	567,022

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自2024年1月1日 至2024年12月31日)	当連結会計年度 (自2025年1月1日 至2025年12月31日)
売上高	1,387,421	1,454,304
売上原価	1,131,827	1,153,020
売上総利益	255,593	301,283
販売費及び一般管理費	208,041	235,417
営業利益	47,552	65,865
営業外収益		
受取利息	17	337
受取配当金	226	270
助成金収入	17,190	13,548
その他	123	113
営業外収益合計	17,556	14,269
営業外費用		
支払利息	648	770
営業外費用合計	648	770
経常利益	64,460	79,364
特別損失		
固定資産除却損	2,102	—
特別損失合計	2,102	—
税金等調整前当期純利益	62,358	79,364
法人税、住民税及び事業税	16,481	21,884
法人税等調整額	△702	△584
法人税等合計	15,779	21,300
当期純利益	46,579	58,063
親会社株主に帰属する当期純利益	46,579	58,063

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自2024年1月1日 至2024年12月31日)	当連結会計年度 (自2025年1月1日 至2025年12月31日)
当期純利益	46,579	58,063
その他の包括利益	—	—
包括利益	46,579	58,063
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	46,579	58,063
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2024年1月1日 至2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	100,000	58,633	158,633	158,633
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	46,579	46,579	46,579
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	46,579	46,579	46,579
当期末残高	100,000	105,212	205,212	205,212

当連結会計年度(自2025年1月1日 至2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	100,000	105,212	205,212	205,212
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	58,063	58,063	58,063
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	58,063	58,063	58,063
当期末残高	100,000	163,275	263,275	263,275

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自2024年1月1日 至2024年12月31日)	当連結会計年度 (自2025年1月1日 至2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	62,358	79,364
減価償却費	2,322	2,195
受取利息及び受取配当金	△243	△607
支払利息	648	770
固定資産除却損	2,102	—
助成金収入	△17,190	△13,548
売上債権の増減額(△は増加)	9,241	△11,873
棚卸資産の増減額(△は増加)	△606	△72
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,216	16,383
未払費用の増減額(△は減少)	4,291	3,122
預り金の増減額(△は減少)	2,098	1,590
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,069	610
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,407	△362
その他	△2,715	4,842
小計	53,568	82,415
利息及び配当金の受取額	243	607
利息の支払額	△648	△770
助成金の受取額	17,190	13,548
法人税等の支払額	△8,292	△19,579
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,061	76,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△900	△1,311
差入保証金の差入による支出	△8,704	—
差入保証金の回収による収入	3,100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,504	△1,311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△24,674	△19,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,674	△19,992
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	30,882	54,917
現金及び現金同等物の期首残高	288,529	319,412
現金及び現金同等物の期末残高	319,412	374,329

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはシステム開発事業を主体とするソリューション開発事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額 (円)	2,052.12	2,632.76
1株当たり当期純利益 (円)	465.79	580.63

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 当社は、2025年9月2日付けで普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産額」及び「1株当たり当期純利益」を算定しております。  
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りです。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	46,579	58,063
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	46,579	58,063
普通株式の期中平均株式数 (株)	100,000	100,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。